

最優秀案（齋藤信吾建築設計事務所）の平面図（案）

※平面図（案）及びイメージ画は提案段階のもので、今後の設計協議により部屋の配置等の内容が変更されます。



丸数字はイメージ画のビューポイント

- ①「へだたりながらもひとつながり」の多様な居場所が溢れ出す風景 – 回廊型のゆるい空間が紡ぐ新しい生涯学習センターの「かた」
- ②多様な個人が安心して一緒に過ごせる場
- ③三角形の回廊型逍遥(しょうよう)空間が紡ぐ配置
- ④子どもからお年寄りまで多様な居場所をつくる環境デザイン
- ⑤建物内部と周辺に呼応し市民にとっての新たな居場所となる逍遥空間

提案された建築計画

○建築面積	2,900 m ²
○延床面積	2,596 m ²
○公園面積	3,200 m ²
○主構造	鉄骨平屋建て

最優秀案（齋藤信吾建築設計事務所）のイメージ画（4点）

別紙1（イメージ画）



1 ▲南側（文化会館側）から歴史公園に向かって全景をイメージ。歴史公園等の周辺環境と調和する三角形の大屋根が新しい風景を生み出す



2 ▲二の沢川の木橋から見たイメージ。多世代交流広場から垣間見られる大屋根の下の蒸気機関車（SL）周辺は広場（ピロティ）として計画



3 ▲コミュニティ道路の北側から見たイメージ。3つの方向に正面性を有するため、建設地に沿って三角形の回廊（逍遙空間）を設けた



4 ▲中庭の公園から多世代交流広場（子どもワクワク広場）を臨むイメージ。公園と広場は一体的な利用が可能な計画になっている。